

No.01

担当課室	消防本部総務課	事業名	消防施設維持管理事業	事業区分	その他事業
事業概要	災害活動拠点として市内12箇所に消防本部、消防署及び消防出張所が配置されており、総員388名（平成29年10月1日現在）の消防職員が各所属で毎日勤務又は2交替制勤務（24時間勤務）に従事しているが、これら施設の維持管理や環境整備を実施する。				
マニフェスト	—				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①	②	増減（②-①）		③	増減（③-②）
50,334 千円	50,334 千円	0 千円		50,334 千円	0 千円
KPI	受益者など（見込）	消防職員数及び年間来庁者数：6,593人	対象1人あたり	7,634 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.02

担当課室	消防本部総務課	事業名	音楽隊運営事業	事業区分	その他事業
事業概要	一宮市消防音楽隊は、主に非常勤嘱託職員で構成されており、消防（又は市）の行事や式典のほか、小中学校での演奏活動、高齢者福祉施設への慰問など年間約40回の演奏活動を実施している。これらの活動は、火災予防等の啓発活動や生涯学習の一翼を担っており、その演奏活動等の運営管理を実施する。				
マニフェスト	—				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①	②	増減（②-①）		③	増減（③-②）
27,257 千円	27,030 千円	△227 千円		27,030 千円	0 千円
KPI	受益者など（見込）	演奏会聴衆者数：19,663人	対象1人あたり	1,374 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査した結果、演奏会関係経費を見直して一部減額した。				

No.03

担当課室	消防本部総務課	事業名	教育・研修事業	事業区分	その他事業
事業概要	消防職員の資質向上のため、基礎・専門知識を学ぶ愛知県消防学校や、より高度な専門知識を学ぶ消防大学校への入校、外郭団体が行う研修会や講習会への参加及び業務に従事するのに必要な資格の取得を推進し、多様化する社会に対応できる職員を育成する。				
マニフェスト	—				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①	②	増減（②-①）		③	増減（③-②）
7,336 千円	7,114 千円	△222 千円		7,114 千円	0 千円
KPI	受益者など（見込）	消防学校及び研修等受講者数：94人	対象1人あたり	75,680 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査した結果、受講対象の研修を見直して一部減額した。				

No.04

担当課室	消防本部総務課	事業名	消防団組織運営事業	事業区分	その他事業
事業概要	一宮市消防団は25分団で構成され、約500人が在籍しているが、その身分は特別職の地方公務員であり、消防団員の年間報酬、災害出動や訓練参加に対する手当、公務災害補償費等の支給などの運営管理を行う。また、消防団の業務執行に必要とされる物品等の購入等の消防団組織全体に関する事務管理も実施する。				
マニフェスト	24 消防団庁舎の整備、団員の確保とともに、救急隊配置署所の増強や、救急救命士の養成を進めます				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
91,866 千円		91,727 千円		91,727 千円	
		増減 (②-①)		増減 (③-②)	
		△139 千円		0 千円	
KPI	受益者など(見込)	消防団員数	H29.10.1現在:527人	対象1人あたり	174,055 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査した結果、団員報酬の積算基礎となる人数を見直して一部減額した。				

No.05

担当課室	消防本部総務課	事業名	消防団施設等維持管理事業	事業区分	その他事業
事業概要	災害活動拠点として市内25箇所に消防団庁舎が配置されており、これら施設や消防車の維持管理を実施する。また、計25台の消防車を所有しているが、各車両を適正に維持管理していくため、道路運送車両法に基づく車検や定期点検、故障時の修繕処理、バッテリーをはじめとする車両関係物品や消防団員が使用する装備品等の購入管理を実施する。				
マニフェスト	-				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
15,674 千円		13,784 千円		13,784 千円	
		増減 (②-①)		増減 (③-②)	
		△1,890 千円		0 千円	
KPI	受益者など(見込)	消防団員数	H29.10.1現在:527人	対象1人あたり	26,155 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査した結果、消防団員加入促進経費を見直して一部減額した。				

No.06

担当課室	消防本部総務課	事業名	消防施設整備事業	事業区分	投資的事業
事業概要	災害活動拠点として市内12箇所に消防本部、消防署及び消防出張所が配置され、同じく25箇所に消防団庁舎が配置されているが、これらの施設を適正に維持管理するため、改修工事や修繕工事等を実施する。				
マニフェスト	-				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
12,863 千円		12,863 千円		12,863 千円	
		増減 (②-①)		増減 (③-②)	
		0 千円		0 千円	
KPI	受益者など(見込)	消防職員数及び消防団員数	H29.10.1現在:915人	対象1人あたり	14,057 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.07

担当課室	消防本部総務課	事業名	消火栓維持管理事業	事業区分	投資的事業
事業概要	主に火災時に使用する消火栓や防火水槽等は、市内各所に配置されており、これらの消火栓や防火水槽等を維持管理し、新たな消火栓等の設置も計画的に実施する。				
マニフェスト	—				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
増減 (②-①)		増減 (③-②)			
63,563 千円		63,563 千円		63,563 千円	
KPI	受益者など(見込)	公設水利(消火栓、防火水槽、防火井戸)数: 4,995基	対象1基あたり	12,725 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.08

担当課室	消防本部総務課	事業名	小信中島分団庁舎建設事業	事業区分	投資的事業
事業概要	地域の火災等の災害や大規模地震に対して、市民の生命・財産を守るため迅速・柔軟に対応する消防団の災害活動拠点施設としての機能維持を図るため、耐震性を有していない小信中島分団庁舎の建て替えを実施する。				
マニフェスト	24 消防団庁舎の整備、団員の確保とともに、救急隊配置署所の増強や、救急救命士の養成を進めます				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
増減 (②-①)		増減 (③-②)			
60,853 千円		60,853 千円		60,853 千円	
KPI	受益者など(見込)	小信中島連区H29.10.1現在人口: 11,015人	対象1人あたり	5,524 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.09

担当課室	消防本部総務課	事業名	防火水槽設置事業	事業区分	投資的事業
事業概要	震災時等に有効な耐震性を有する防火水槽を不足している地域に整備する。平成30年度は、今伊勢町連区(一宮市テニスコート敷地内)への設置を計画する。				
マニフェスト	—				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
増減 (②-①)		増減 (③-②)			
29,804 千円		0 千円		0 千円	
KPI	受益者など(見込)	今伊勢町連区H29.10.1現在人口: 26,552人	対象1人あたり	0.00 円	
査定結果の理由等	【実施見送り】 必要性は認められるものの、市全体の予算規模及び財政状況を考慮して、計上を見送った。				

No.10

担当課室	消防本部総務課	事業名	北方分団庁舎駐車場整備事業	事業区分	投資的事業
事業概要	一宮市消防団北方分団庁舎の駐車場を拡張するもの。現状の駐車場は非常に狭く、自家用車は3台しか駐車出来ない。火災等発生時には地域の消防団員は自家用車で分団庁舎に集まるが、緊急対応として周辺道路に一時的に自家用車を駐停車し、災害出動している。このような状況を改善するために、駐車場の拡張・整備を実施する。平成29年度に用地測量及び不動産鑑定を実施済みであり、平成30年度に分筆登記及び用地購入、駐車場拡張工事を実施する。				
マニフェスト	-				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
増減(②-①)		増減(③-②)			
16,379千円		16,379千円		16,379千円	
KPI	受益者など(見込)	北方町連区 H29.10.1現在人口:9,843人	対象1人あたり	1,664円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.11

担当課室	消防本部総務課	事業名	水防管理事業	事業区分	その他事業
事業概要	一宮市、犬山市、江南市、稲沢市、岩倉市、大口町及び扶桑町で構成されている尾張水害予防組合は、構成市町区域内の木曾川をはじめ各河川及び池沼等の水災に対応するため、水防上必要な施設等の維持管理及び必要な事項の連絡調整を図るなどの事業を実施しており、同事業に要する経費を構成市町が負担している。				
マニフェスト	-				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
増減(②-①)		増減(③-②)			
6,916千円		6,916千円		6,916千円	
KPI	受益者など(見込)	水防団員数H29.10.1現在:527人	対象1人あたり	13,123円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.12

担当課室	消防本部通信指令課	事業名	消防通信指令事業	事業区分	その他事業
事業概要	119番通報の受信、消防隊等への出動指令及び消防救急無線等を活用した通信統制業務を稲沢市と共同で実施する。また、これらの業務を継続するために、指令機器をはじめ、消防救急無線、消防本部内の通信ネットワーク等の機器を適切に維持管理し、消防通信の安定稼働を図る。				
マニフェスト	-				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
増減(②-①)		増減(③-②)			
51,827千円		51,773千円		51,773千円	
KPI	受益者など(見込)	119番受信件数:30,416件	対象1件あたり	1,702円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査した結果、消耗品等の事務経費を見直して一部減額した。				

No.13

担当課室	消防本部通信指令課	事業名	消防緊急通信指令システム部分更新事業	事業区分	投資的事業
事業概要	稲沢市と共同で運用している消防緊急通信指令システムの老朽化した機器を更新し、同システムの安定稼働を図る。				
マニフェスト	—				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
増減 (②-①)		増減 (③-②)			
285,120 千円		0 千円		△285,120 千円	
KPI	受益者など (見込)	119番受信件数 : 30,416件	対象1件あたり	9,374 円	
査定結果の理由等	市全体の予算規模を踏まえて一旦保留したが、市民の安全・安心な生活の確保のために必要不可欠な事業であることから、要求額通りに計上した。				

No.14

担当課室	消防本部予防課	事業名	災害用街頭消火器等整備事業	事業区分	その他事業
事業概要	震災対策事業として地域住民の初期消火体制に万全を期すため、市内全域に消火器を設置している。これを「街頭消火器」と呼称し、平成29年4月1日現在で9,976本が各所に設置されており、定期的な消火器の更新を行うなどの維持管理を実施する。				
マニフェスト	—				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
増減 (②-①)		増減 (③-②)			
6,257 千円		6,257 千円		0 千円	
KPI	受益者など (見込)	街頭消火器設置本数 : 9,976本	対象1本あたり	627 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.15

担当課室	消防本部予防課	事業名	予防活動事業	事業区分	その他事業
事業概要	火災予防普及啓発活動として、火災予防運動、消防フェア（「きて・みて・たいけん138」）、児童防火作品の募集・展示等を実施する。また、防火管理者の養成、危険物施設や事業所への防火指導等を行い、防火管理体制の確立に努める。その他に予防業務執行に必要とされる物品等の購入等の事務管理等も実施する。				
マニフェスト	—				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
増減 (②-①)		増減 (③-②)			
2,745 千円		2,734 千円		△11 千円	
KPI	受益者など (見込)	火災予防普及啓発活動(消防フェア、児童防火作品)参加者数 : 7,409人	対象1人あたり	369 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査した結果、購入物品の単価を見直して一部減額した。				

No.16

担当課室	一宮消防署管理課	事業名	救急救命士教育養成事業	事業区分	その他事業
事業概要	救急救命士とは、医師の指示の下に救急救命処置を行うことができる国家資格を有する者であり、心肺停止を含む重症傷病者に対して適切な処置をすることができ、救命率の向上にも寄与している。本事業は、現救急救命士の資質向上のための教育及び新規救急救命士資格取得者の養成事業である。				
マニフェスト	24 消防団庁舎の整備、団員の確保とともに、救急隊配置署所の増強や、救急救命士の養成を進めます				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①	②	増減(②-①)		③	増減(③-②)
7,162千円	7,162千円	0千円		7,162千円	0千円
KPI	受益者など(見込)	救急救命士数: 89人	対象1人あたり	80,471円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.17

担当課室	一宮消防署管理課	事業名	救急事業	事業区分	その他事業
事業概要	災害現場では主に傷病者に高度な救命処置を行いながら医療機関へ搬送する活動を行う事業である。平常時は応急手当の普及啓発のため救命講習等を実施し、常に処置訓練や内部研修会を行い、救急活動に万全を期している。また、これらの救急業務執行に必要とされる物品等の購入等の救急活動全般に関する事務管理も実施する。				
マニフェスト	-				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①	②	増減(②-①)		③	増減(③-②)
24,591千円	24,591千円	0千円		24,591千円	0千円
KPI	受益者など(見込)	救急出動件数: 16,882件	対象1件あたり	1,456円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.18

担当課室	一宮消防署管理課	事業名	消防車両等維持管理事業	事業区分	その他事業
事業概要	消防職員が使用する消防車、救急車その他の消防車両を計68台(平成30年4月1日現在)所有している。各車両を適正に維持管理していくため、道路運送車両法に基づく車検や定期点検、故障時の修繕処理、バッテリーをはじめとする車両関係物品等の購入管理を実施する。				
マニフェスト	-				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①	②	増減(②-①)		③	増減(③-②)
31,177千円	31,158千円	△19千円		31,158千円	0千円
KPI	受益者など(見込)	消防車両等台数: 68	対象1あたり	458,205円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査した結果、車両維持管理経費(消耗品費)を見直して一部減額した。				

No.19

担当課室	一宮消防署管理課	事業名	消防車両更新管理事業	事業区分	投資的事業
事業概要	消防職員が使用する消防車、救急車その他の消防車両を計68台、消防団員が使用する消防ポンプ車を計25台（平成30年4月1日現在）所有している。 各車両を適正に維持管理していくため、使用年数等に応じた計画的な更新若しくは新規車両の購入を実施している。				
マニフェスト	—				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
増減 (②-①)		増減 (③-②)			
60,546 千円		60,546 千円		60,546 千円	
0 千円		0 千円		0 千円	
KPI	受益者など（見込）	一宮市 H29.10.1現在人口：386,146人		対象1人あたり	156 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.20

担当課室	一宮消防署管理課	事業名	はしご付消防自動車更新事業	事業区分	投資的事業
事業概要	消防職員が使用するはしご付き消防自動車を2台所有しているが、2台とも平成31年度中にNox・PM法により使用できなくなるために、平成30年度に1台更新をするもの。なお、平成31年度にもう1台の更新を計画している。				
マニフェスト	—				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
増減 (②-①)		増減 (③-②)			
180,296 千円		0 千円		180,296 千円	
△180,296 千円		+180,296 千円		+180,296 千円	
KPI	受益者など（見込）	一宮市 H29.10.1現在人口：386,146人		対象1人あたり	466 円
査定結果の理由等	市全体の予算規模を踏まえて一旦保留したが、市民の安全・安心な生活の確保のために必要不可欠な事業であることから、要求額通りに計上した。				

No.21

担当課室	一宮消防署本署	事業名	警防事業	事業区分	その他事業
事業概要	災害現場で主に消火活動を実施するとともに救急隊の支援活動等も実施している。平常時は防火対象物の立入検査や市民を対象とした消火器取扱訓練等の火災予防活動を行い、さらには常に訓練を行い災害活動に万全を期している。また、これらの警防業務執行に必要なとされる物品等の購入等の警防活動全般に関する事務管理も実施する。				
マニフェスト	—				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
増減 (②-①)		増減 (③-②)			
28,830 千円		27,896 千円		27,896 千円	
△934 千円		0 千円		0 千円	
KPI	受益者など（見込）	火災等出動件数：2,896件		対象1件あたり	9,632 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査した結果、新規装備導入を見送るなど一部減額した。				

No.22

担当課室	一宮消防署本署	事業名	救助事業	事業区分	その他事業
事業概要	災害現場で主に火災や交通事故での脱出不能者を救出する活動を行う事業である。平常時は各種救助資器材や救助技術を活用し、あらゆる災害・事故による負傷者等を安全、確実、迅速に救出できるよう常に訓練を行い、災害活動に万全を期している。また、これらの救助業務執行に必要とされる物品等の購入等の救助活動全般に関する事務管理も実施する。				
マニフェスト	-				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)
12,033 千円		12,033 千円	0 千円	12,033 千円	0 千円
K P I	受益者など (見込)	救助出動件数 : 210件		対象1件あたり	57,300 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				